

$$64 \quad \text{函数方程式} \quad f(x) = \frac{1}{2} \int_{x-1}^{x+1} f(t) dt = \text{定値}$$

(阪大) 南雲道夫, 三野良信, 角谷静夫

任意, 但し長さが一定な区間 = 於ける平均値がその区間, 中点, 値  
= 等しい函数は何か?

一次整函数  $f(x) = ax + b$  の明か = 上の性質をもつ。然し上の性質  
を持つ函数は一般 = 一次整函数に限らな。 (区間, 長さが任意  
ならば勿論一次整函数 = 限る) 所て特 =  $f(x)$  が  $-\infty < x < +\infty$  で  
有界ならば  $f(x)$  は定数なることがわかる。コレカラ  $f'(x)$  が有界ならば  
 $f(x) = ax + b$  なることが証明される ( $f'(x)$  の代り =  $f^{(p)}(x)$  がアル  $p = 1$  対  
して有界をアツてモヨ)

[[一般の場合]] 区間, 長さを2とする。  $f(x)$  が  $-\infty < x < +\infty$  内の任意, 閉  
区間 (有限な区間) で積分可能ならば

$$F(x) = \int_a^x f(t) dt$$

と置く。測度零, 集合以外で

$$(1) \quad F'(x) = \frac{F(x+1) - F(x-1)}{2}$$

コカラ  $F(x)$  が連続微分可能なること 従って逐次 = 無限回連続微分  
可能なること (従って  $f(x)$  も無限回連続微分可能) かわかる。

今 (1) を満足する任意, 無限回連続微分可能な函数を考へれば  
その導函数  $F'(x) = f(x)$  は問題の函数である。(1) から又その任意の回  
数微分した結果, 函数も (1) を満足するこたがわかる。

$$(2) \quad F^{(k)}(x) = \frac{F^{(k-1)}(x+1) - F^{(k-1)}(x-1)}{2}$$

((定理))  $x(x)$  が閉区間  $-1 \leq x \leq 1 - \varepsilon$  ( $2 > \varepsilon > 0$ , 任意)

“定義カク任意ノ無限回連続微分可能十函数トスレバ”  
 $-1 \leq x \leq 1 - \varepsilon$  “ $\Phi(x)$  ト一致シテ  $-\infty < x < +\infty$  “ (1) ヲ満足  
 スル様十函数  $F(x)$  カ存在スル。

証明  $F(x)$  ヲ  $-1 \leq x \leq 1 - \varepsilon$  “  $\Phi(x)$  ト一致シ  $1 - \varepsilon \leq x \leq 1$   
 “無限回連続微分可能,  $x = 1 - \varepsilon$  “ハ  $F^{(k)}(x)$  カスベテ  $\Phi^{(k)}(x)$   
 ト一致シ  $x = 1$  “

$$\Phi^{(k)}(0) = \frac{F^{(k-1)}(1) - \Phi^{(k-1)}(-1)}{2}$$

十ル様 = 定メレバ” (1) = ヲリ  $x \leq -1$  又ハ  $1 \leq x$  = 於ケル  $F(x)$  カ  
 一義的 = 自然 =  $-\infty \leq x \leq +\infty$  “ (1) カ成立スル様 = 決定サ  
 レル事ガワカル。

故 = 問題ハ = ツノ  $x$  ノ値  $x = a, x = b$  ( $a < b$ ) = 於テスベテ  
 ノ微係数ガ豫メ与ヘラレタ値ヲ取ル様十無限回微分可能  
 十函数ノ存在ヲ証明スレバ”ヨイ。即チ  $\alpha_k, \beta_k$  ( $k = 0, 1, \dots, \infty$ )  
 ) ヲ与ヘタトキ

$$F(a) = \alpha_0, \quad F(b) = \beta_0$$

$$F^{(k)}(a) = \alpha_k, \quad F^{(k)}(b) = \beta_k, \quad k \geq 1$$

十ル  $F(x)$  ノ存在ヲ証明スレバ”ヨイ。コノ定理ノ証明ハ後 = 発表  
 スル事 = シテ今コノ = ハ省略スル。

[[  $f'(x)$  ガ有界十ル場合 ]] (2) カラ若シ  $F^{(k)}(x)$  カ有界即チ  
 $|F^{(k)}(x)| \leq M$  トスレバ”  $|F^{(k+1)}(x)| \leq M$  從ツテ  $|F^{(v)}(x)| \leq M$ ,  
 ( $v \geq k$ ) トナル。故ニ  $F(x)$  ハスベテ  $x =$  ツキ Taylor 級数 = 展開  
 サレル。

$$F(x) = a_0 + \frac{a_1}{4!} x^4 + \frac{a_2}{2!} x^2 + \dots + \frac{a_n}{n!} x^n + \dots$$

$$|a_n| \leq M \quad (n \geq k)$$

$$\max(|a_3|, |a_4|, |a_{R-1}|, M) = M_2 \quad \text{トオケハ}$$

$$(3) \quad |a_i| \leq M_2 \quad i = \overset{3, 4, 5, \dots}{\cancel{0, 1, 2, \dots}}$$

(2) = 故ニ  $x=0$  トオケハ

$$0 = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{a_{k+2n}}{(2n+1)!}, \quad k=1, 2, \dots$$

コレヨリ  $\left| \frac{a_{k+2}}{2 \cdot 3} \right| \leq \left| \frac{a_{k+4}}{2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5} \right| + \left| \frac{a_{k+6}}{2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6 \cdot 7} \right| + \dots$

(3)ヨリ  $|a_{k+2}| \leq M_2 \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{4^{2n}} = \frac{M_2}{15}, \quad k=1, 2, 3,$

(3)ニ代テ  $M_2$  (代リ) =  $\frac{M_1}{15}$  ヲ用フレハ

$$|a_{k+2}| \leq \frac{M_1}{15^2}$$

コレヲ繰返セハ

$$|a_{k+2}| \leq \frac{M_1}{15^k} \quad k=1, 2, 3,$$

コレヨリ  $a_{k+2} = 0, \quad k=1, 2, 3, \quad (\text{証明終})$

**問題】** 本問題 = 故ニ  $f(x) = 0$  程度ノ假定ヲ置ケバ  $f(x) = ax + b$  トナルコトガ云ハルカ。例ヘバ  $f(x)$  ガ  $x$  ノ解析的整函数トシテ如何? 或ハ  $f(x)$  ガスルテ、実ナル  $x$  上ノ解析的正則ト假定シタトキ  $f(x) = ax + b$  以外ニ問題ノ性質ヲ有スル函数ガ果シテ存在スルカ?

以上 十一月 = 十七日。